



第2回まちづくり交付金評価委員会

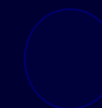
鶴田地区の事後評価について

平成25年11月29日

都市整備部 西部区画整理事業課

住めば
愉快だ
宇都宮

UTSUNOMIYA





(1) 地区のまちづくりの経緯について

住めば
愉快だ
宇都宮

UTSUNOMIYA



地区のまちづくりの経緯について



【当初計画（平成21年3月）】

事業	事業名	内容
【基幹事業】 公園	街区公園3号	3,000㎡（鶴田第1地区）
	街区公園2号	1,500㎡（鶴田第2地区）
【基幹事業】 土地区画整理事業	鶴田第2地区	面積 86.2ha
【提案事業】 事業活用調査	今後のまちづくり検討調査	鶴田第1地区・鶴田第2地区
【提案事業】 まちづくり活動推進事業	まちづくり活動推進支援	鶴田第2地区



地区のまちづくりの経緯について



【 第 1 回計画変更（平成 2 2 年 9 月）】

・ 事業費の精査

事業	事業名	内 容
【基幹事業】 土地区画整理事業	鶴田第 2 地区	事業費 17.24億円増額



地区のまちづくりの経緯について



【 第2回計画変更（平成25年2月）】

・ 事業の追加

事業	事業名	内容
【基幹事業】 河川	準用河川駒生川改修事業	延長 160.0m

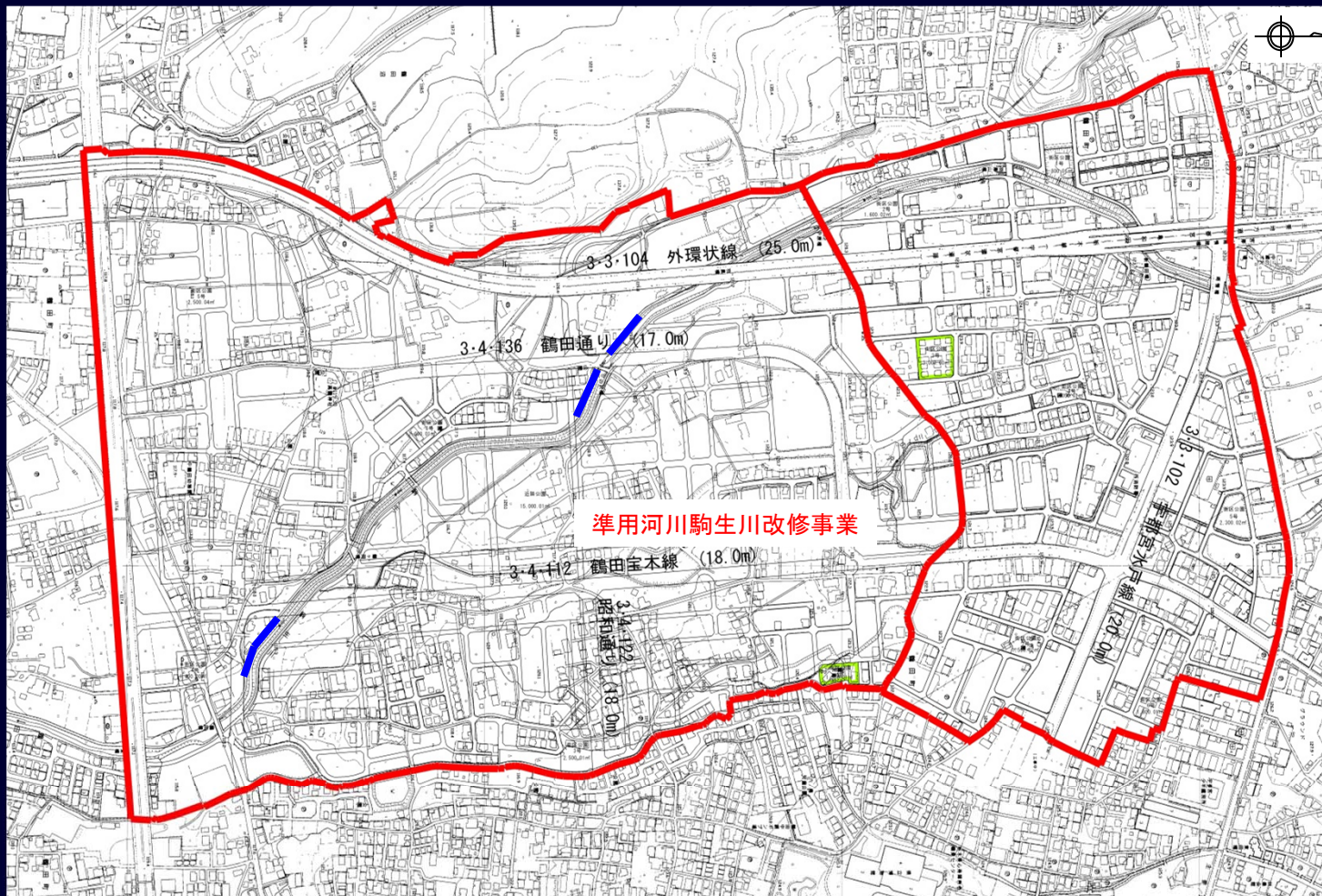
・ 事業費の精査

事業	事業名	内容
【基幹事業】 河川	準用河川駒生川改修事業	事業費 1.05億円追加

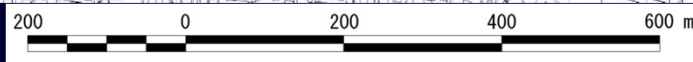
・ 事業期間等の変更：計画期間内における事業の実施年度変更 等



第2回変更 追加事業



準用河川駒生川改修事業



住めば
愉快だ
宇都宮

UTSUNOMIYA



(2) 事後評価について



住めば
愉快だ
宇都宮

UTSUNOMIYA



①方法書について



方法書とは…

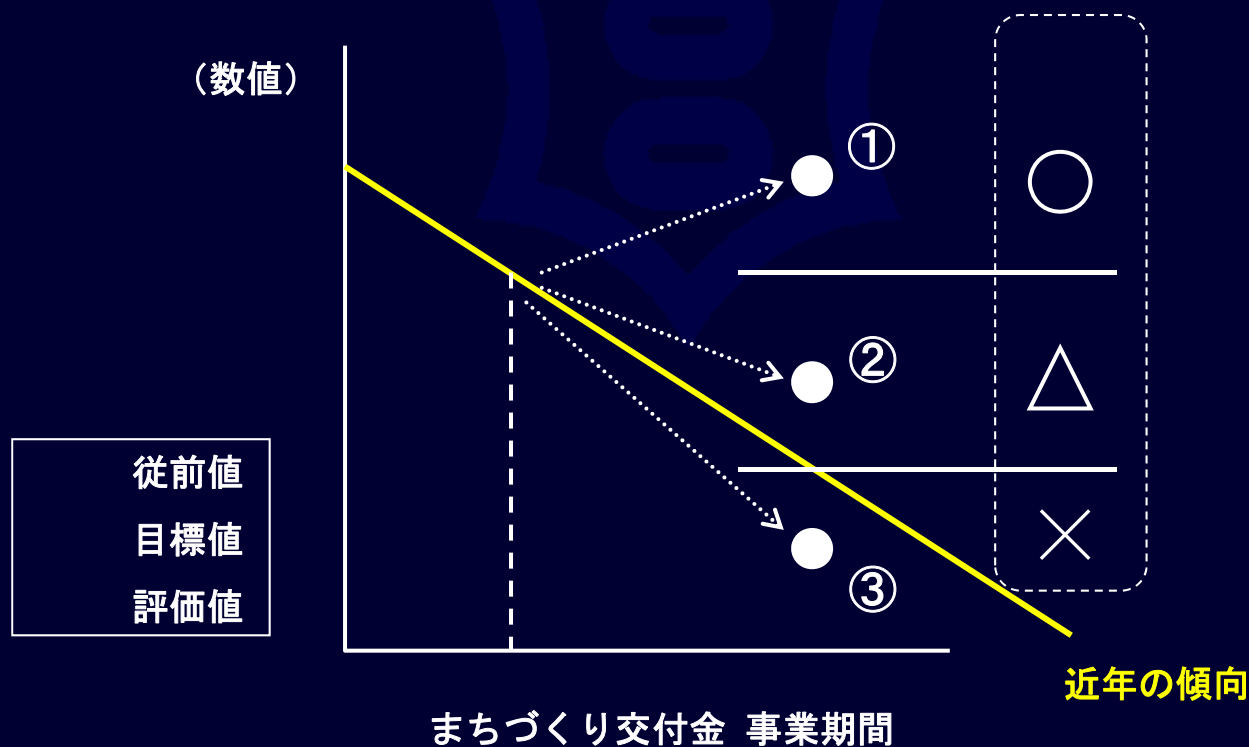
事後評価の実施にあたり、『成果の評価』『実施過程の評価』等について、
時期・作業内容・方法をあらかじめ設定し、
事後評価を円滑に進めるための『評価の実施計画書』。



②成果の評価について



評価の基準	達成度
①評価値が目標値を上回った場合	○
②評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合	△
③評価値が目標値には達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合	×



住めば
愉快だ
宇都宮

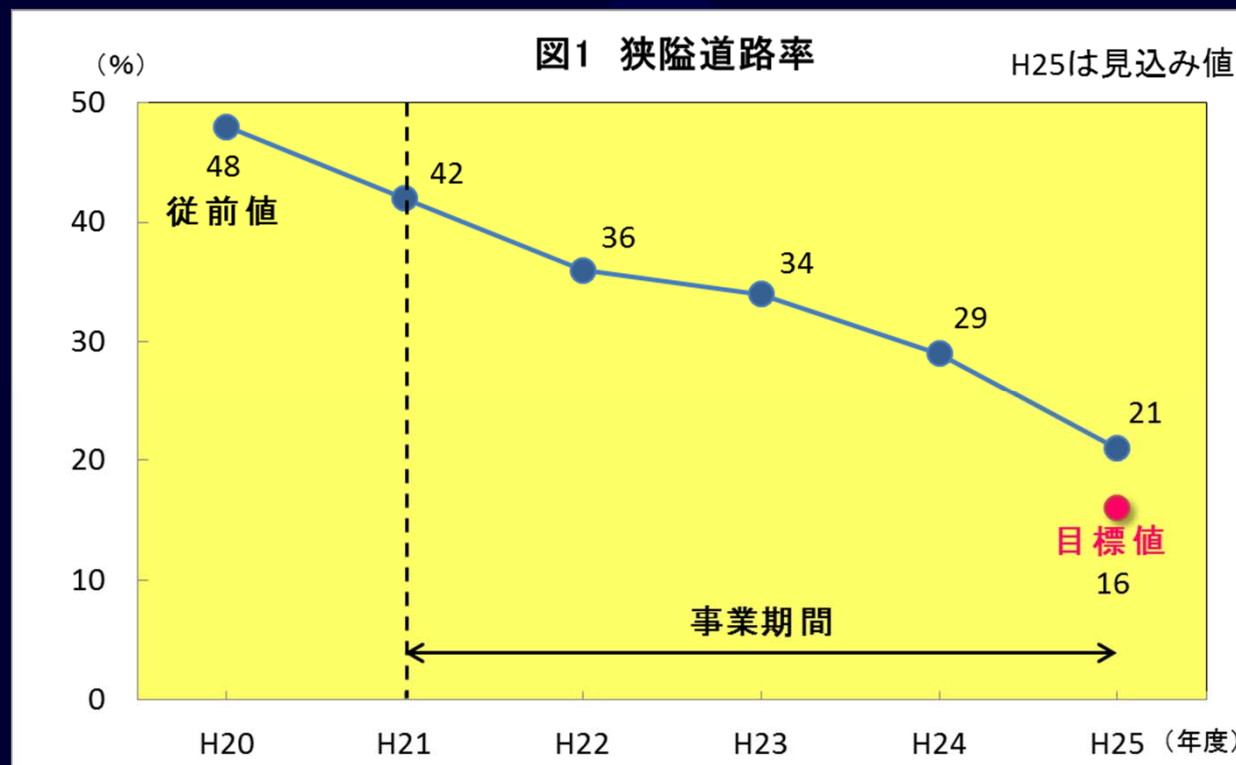


②成果の評価及び③効果発現要因について



【指標 1 : 狭隘道路率】

指標	単位	従前値 (H20)	目標値 (H25)	評価値	目標 達成度	1年以内の 達成見込み
狭隘道路率	%	48	16	21	△	○



住めば
愉快だ
宇都宮

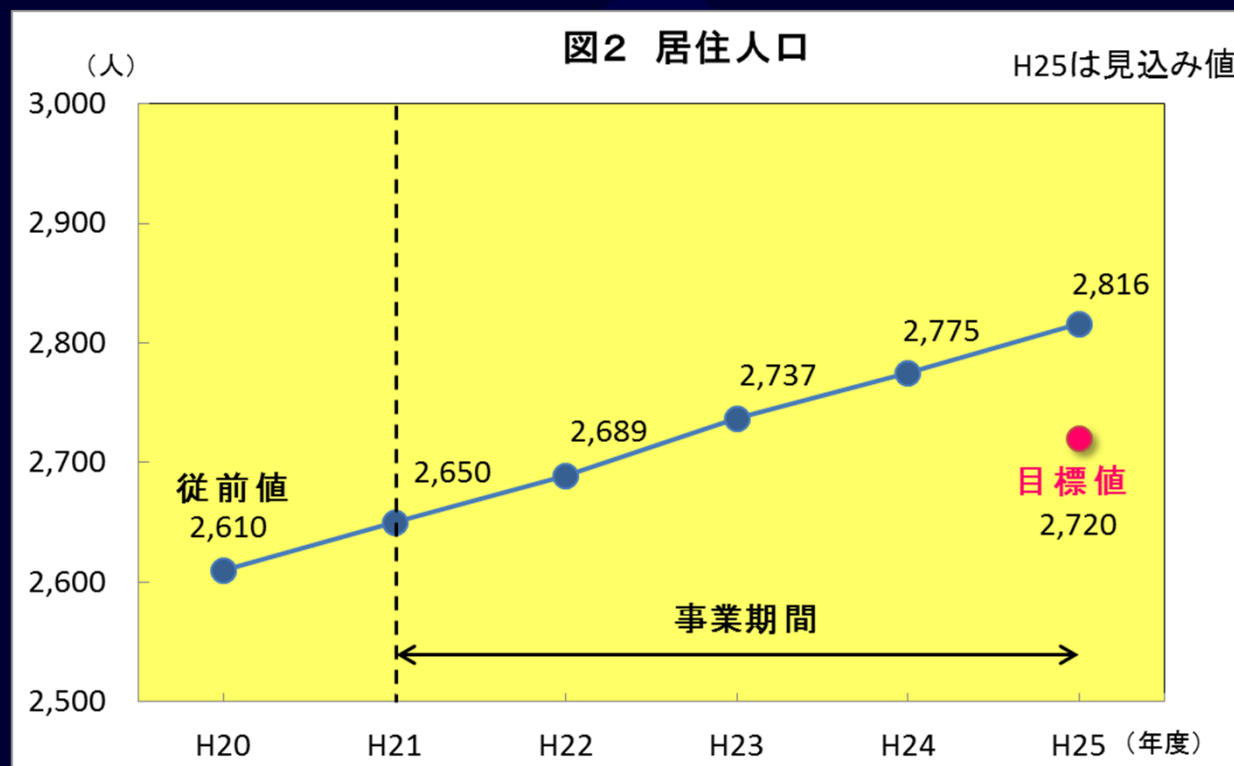


②成果の評価及び③効果発現要因について



【指標2：居住人口】

指標	単位	従前値 (H20)	目標値 (H25)	評価値	目標 達成度	1年以内の 達成見込み
居住人口	人	2,610	2,720	2,816	○	



住めば
愉快だ
宇都宮

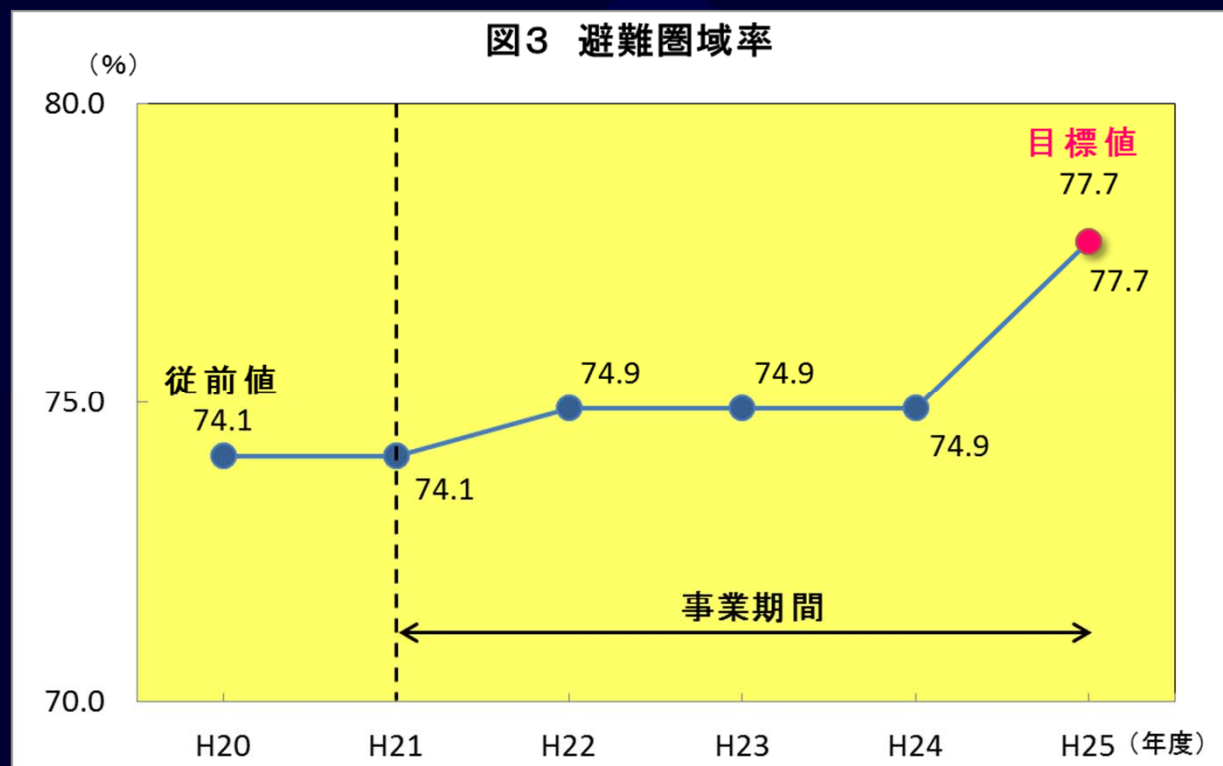


②成果の評価及び③効果発現要因について



【指標3：避難圏域率】

指標	単位	従前値 (H20)	目標値 (H25)	評価値	目標 達成度	1年以内の 達成見込み
避難圏域率	%	74.1	77.7	77.7	○	



住めば
愉快だ
宇都宮

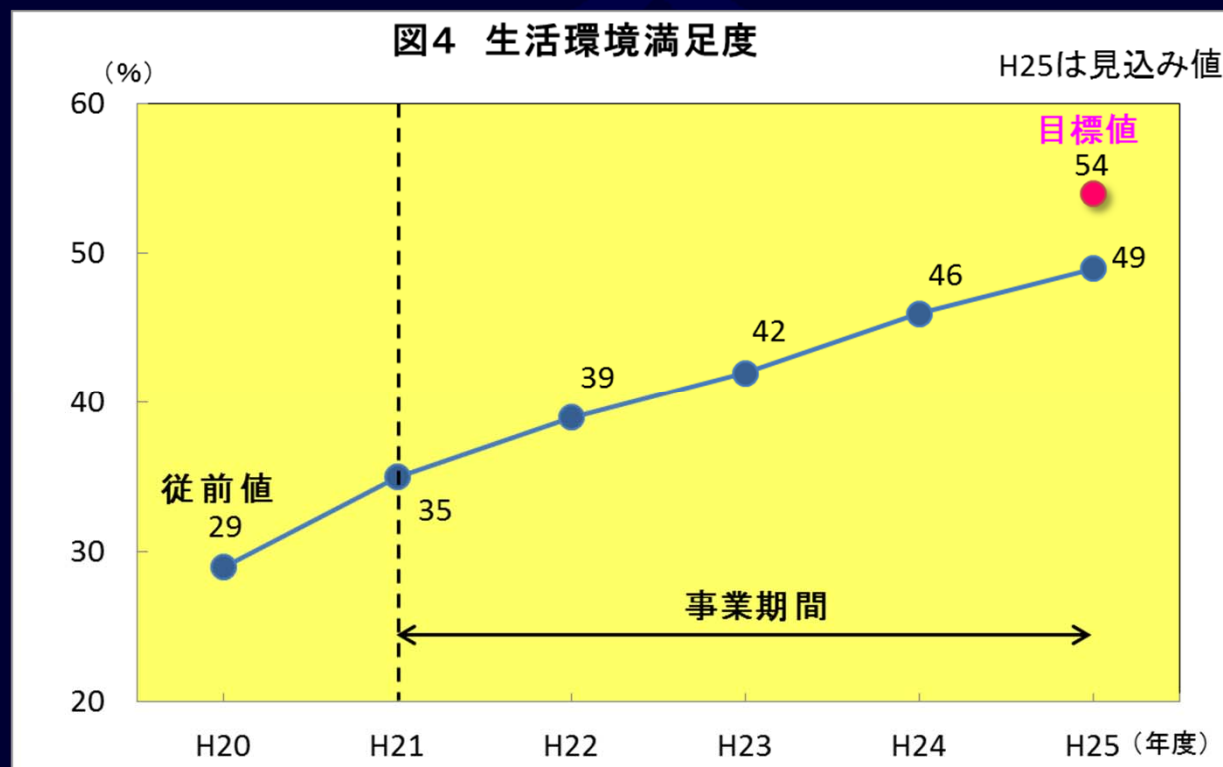


②成果の評価及び③効果発現要因について



【指標4：生活環境満足度】

指標	単位	従前値 (H20)	目標値 (H25)	評価値	目標 達成度	1年以内の 達成見込み
生活環境満足度	%	29	54	49	△	○



住めば
愉快だ
宇都宮

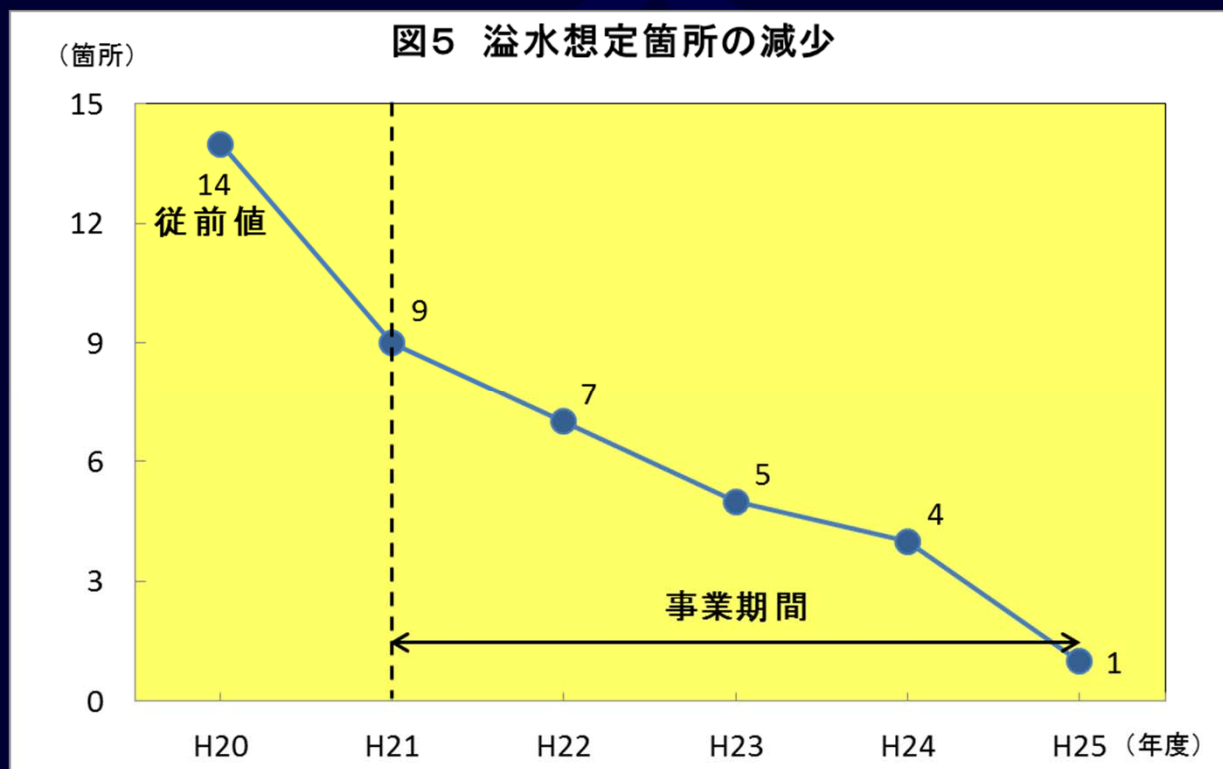


②成果の評価及び③効果発現要因について



【その他の指標：溢水想定箇所の減少】

指標	単位	従前値 (H20)	目標値	評価値	目標 達成度	1年以内の 達成見込み
溢水想定箇所の減少	箇所	14	—	1	—	—



住めば
愉快だ
宇都宮



②成果の評価及び③効果発現要因について



【定性的な効果発現状況】

公園整備計画を策定するにあたり・・・

-
- ・ 市民と協働でワークショップを行った
 - ・ 住民のニーズを公園整備に反映できた
 - ・ 公園に対する市民の愛着が深まった
 - ・ 幅広い年齢層に利用される

住めば
愉快だ
宇都宮

地域コミュニティの形成



④実施過程の評価について



□モニタリング

実施していない

□住民参加プロセス

公園整備計画の策定過程におけるワークショップの開催

□持続的なまちづくり体制の構築

地域住民との直接の対話を通じたまちづくりに対する意識の向上



公園整備のためのワークショップ



住めば
愉快だ
宇都宮

UTSUNOMIYA



(3) 今後のまちづくりについて

住めば
愉快だ
宇都宮

UTSUNOMIYA



まちの課題の変化について



【まちの課題の変化】

- 1 区画道路の整備
歩行者専用道路の整備 ⇒
 - ・ 狭隘道路や行き止まり道路の解消
 - ・ 歩行者空間の確保
 - ・ 生活道路の安全性や利便性が向上

- 2 街区公園の適正配置 ⇒
 - ・ 街区公園の整備
 - ・ 災害に強い都市基盤づくりの 推進

- 3 土地区画整理事業
公共下水道事業 ⇒
 - ・ 安全で快適な生活環境の形成
 - ・ 居住人口の増加

河川改修事業

- 4 街区公園の整備 ⇒
 - ・ 地域住民と協働でワークショップを開催し、公園整備へ反映
 - ・ 住民相互の交流の場の確保



今後のまちづくり方策について



1. 土地区画整理事業による都市基盤の整備・改善
 - ・ 今後も引き続き、鶴田第2土地区画整理事業により、公共施設の整備改善や宅地の利用増進を図り、計画的・効率的な土地利用を推進する。

2. 浸水被害の解消
 - ・ 公共下水道事業と土地区画整理事業を一体的に施行し、生活排水の適正な処理を進めるとともに、雨水幹線の整備や河川の改修により、浸水被害を解消する。



今後のまちづくり方策について



3. 狭隘道路の解消

- ・ 鶴田第2土地区画整理事業により、地区内における狭隘道路の解消を進めていく。

4. 災害に強い都市基盤の整備

- ・ 地区内において、防災空間として機能する街区公園を適正に配置・整備していくことにより、地域の防災性を向上させ、災害に強い都市基盤の整備を進めていく。